

新規事業採択時評価結果(令和7年度新規事業化箇所)

担 当 課: 道路局 環境安全・防災課
担 当 課 長 名: 水野 宏治

事業の概要

事業名	スマートICアクセス 市道 桑名北部東員線 (仮称) 大山田スマートICアクセス	事業区分	地方道	事業主体	三重県桑名市
起終点	自:三重県桑名市大字播磨 至:三重県桑名市多度町御衣野			延長	2.8km
事業概要					
市道桑名北部東員線は、東名阪自動車道の大山田PAに設置を予定しているスマートICへのアクセス道路であり、市道坂井多度線までの延長約2.8kmを整備するものである。					
事業の目的、必要性					
東名阪自動車道と産業誘導ゾーンを連絡する市道坂井多度線は住宅団地内を通過することから、大型車の通行による騒音・振動により団地内の静穏な生活環境を阻害しているほか、県道御衣野下野代線については、踏切や幅員狭小区間により産業誘導ゾーンを利用する交通の利便性を妨げる要因となっている。 アクセス道路の整備により、産業誘導ゾーンへの速達性が高まるとともに、団地内を通過する大型車の大幅な減少が図られることで、当該地域の交通流が適正化することが期待される。					
全体事業費		約53億円	計画交通量		約7,700台／日
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

- ・桑名市都市計画マスタープランに産業誘導ゾーンと高速道路を結ぶ新たなネットワークとして位置付けられている。
- ・地元自治会や企業団体より早期完成の要望を受けている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

-

対応方針(採択理由)

費用便益比が2.9と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、大山田PAスマートインターチェンジ(仮称)と併せて市道桑名北部東員線を整備することにより、産業誘導ゾーンへの速達性が高まるとともに、団地内を通過する大型車の大幅な減少が図られることで、当該地域の交通流が適正化することが見込まれることから、当該事業の整備の必要性・効果は高いものと判断される。
以上により、本事業は令和7年度新規事業箇所として妥当である。

事業評価結果(総合評価)

事業採択の前提条件
☑便益が費用を上回っている
☑事業実施環境が整っている(令和6年9月6日付で大山田PAスマートインターチェンジ(仮称)が新規事業化している)

費用 便益 分析	B/C		(参考)	EIRR	総費用	44億円	総便益	129億円		感度分析			基準年
		[4%]	2.9		10.4%	〔 事業費：44 億円 維持管理費：0.53億円 更新費：-億円 〕	〔 走行時間短縮便益：125 億円 走行経費減少便益：2.5億円 交通事故減少便益：1.3億円 〕			交通量変動	B/C＝ 2.6～3.2 (変動ケース:±10%)	令和6年	
	(参考)	[2%]	4.2							事業費変動	B/C＝ 2.6～3.2 (変動ケース:±10%)		
		[1%]	5.2							事業期間変動	B/C＝ 2.8～2.9 (変動ケース:±20%)		

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
※B/Cは を対象とした場合の値、() 裏きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(()内は社会的割引率の値)

事業の 影響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	交通分散による渋滞緩和
				・スマートIC整備により交通の分散が図られることで、産業誘導ゾーンから東名阪自動車道へのアクセスルートにおいて、県道御衣野下野代線で約17%、市道坂井多度線で約16%の交通量の軽減が期待できる。 ・集落地・住宅団地内の通過交通の軽減による渋滞緩和に期待できる。
		事故対策	－	・注目すべき影響はない
		歩行空間	－	・注目すべき影響はない
	社会全体への影響	住民生活	◎	・交通の転換が図られることで、生活道路に大型車交通を起因とした振動・騒音等の緩和に期待できる。 ・スマートICと接続することにより、新規高速バス路線が開設されると、損失時間の削減に期待できる。 通勤・通学(平日245日/年)の高速バスの利用者の年間損失時間削減量(乗車時間約10分短縮)=約82時間/年・人
		地域経済	◎	高速道路へのアクセス時間の短縮による新規企業の誘致促進
				・スマートICと接続することにより、産業誘導ゾーンから高速道路への所要時間について約5～10分の短縮が期待できる。 市内産業誘導ゾーンにおける計画中の企業立地が完了した場合、約5,000人の雇用増加、約12.6億円の税収効果が期待できる。
		災害	○	・三重県広域受援計画において、大山田PAは自衛隊等の進出拠点になっており、スマートIC及びひ桑名北部東員線を整備することにより迅速な支援活動が期待できる。 ・桑名東IC、桑名ICから防災拠点施設や指定避難所へのアクセスルートは、洪水・高潮・津波の浸水想定区域にあるため、災害発生時に避難路・物資輸送路・道路啓開等のルートが確保され防災機能向上に期待できる。
		環境	－	・注目すべき影響はない。
		地域社会	－	・注目すべき影響はない。

事業実施環境
・令和6年8月28日付で東名阪自動車道との連結許可
・令和6年9月6日付で大山田PAスマートインターチェンジ(仮称)が新規事業化